



# みねのぶ

1月号

迎春



■発行日/令和6年1月1日/No.1461号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

## 新春にあたり

代表理事組合長  
伊藤俊春

新年、明けましておめでとうございます。

令和6年の輝かしい年明けにあたり、組合員皆様にお祝い申し上げることにつきましても、当農協の各事業に対しまして、ご理解を頂戴し、ご利用、ご協力いただきありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、コロナの感染拡大が、ようやく落ち着きを見せてきて、5月に感染法上の分類が「5類」に引き下げられました。いきなり、感染者がいなくなることにはなりませんが、様々な活動が、活性化してきたことで、コロナ前の状況に近づきました。しかしながら、感染対策や免疫力低下の影響なのか、インフルエンザ等の感染症が増えたことも事実です。それでも、以前と比べて、行動制限が緩和され、余裕が出来ていることは、事業をする上で活動しやすくなつた

事も踏まえ、今後についても、出来る範囲での対策は継続していくないと考えています。

一方、ロシアとウクライナの紛争については、長期化し、解決する様相が見えてきません。その上、イスラエルをはじめ、世界各地での紛争が止まらない状況です。日本としては、経済的な問題が大きく、物価高騰の一因でもあります。が、それ以上に、被害に遭つてゐる状況を考えた時、早い解決を祈るばかりです。

国内の農政については、食料農業農村基本法の改正に向けて、検討されていますが、前述した内容の事もあり、食料安全保障の見直しが重要となつてきています。食料自給率の問題も、備蓄と輸入のバランスも考慮した中で、食料供給が出来なくなることが、いつ起こつてもおかしくないこの状況下で、平時から備える政策が検討されています。国内生産をこれから如何に安定的に行うか、主食用を含む米の生産と合わせて、小麦、大豆、飼料作物の増産をどう実現させていくのかを検討しなければいけません。また、水田活用交付金と畠地化支援金の考え方がある程度納得できるものではありませんが、私たちも、今ある対策を、し

つかり活用して、この地域に合った、水田を中心とした輪作体系を最大限生かす、経営スタイルをさらに進めることが重要です。そのため、今後とも、JAグループをあげて、北海道は勿論、国へもしっかりと要望していきます。

昨年の作況については、南空知が103という結果でした。実際の状況を見ると、収量・品質共に、猛暑の影響を受けて、非常に悪い年となりました。米以外にも、大豆を始め、ほとんどの農産物が影響を受けていることは、まさしく異常気象が、通常になりつつある気がします。しかしながら、この様な年でも、収量・品質を確保している生産者もいることは、まだ、対策はあるということですので、今後ともしっかりと営農支援を行っていきたいと思います。昨年立ち上げた、営農推進協議会の更なる充実と活用を進めて、全体レベルアップを図つていきたいと思います。

今年は辰年であります。活力旺盛になつて大きく成長し、形がとのう年だと言われています。昨當農・販売を中心に説明させていただきましたが、その中でも様々な意見をいただきました。生産物の品質等が悪かつたこともありますが、厳しい経営状況の中、農協がしっかりと所得確保の対応がなされていないと思われていることが、大きな課題だと思います。

安心して農協を利用してもらえるよう、スピード感をもつて対応していきます。

今、組合員皆様の経営環境は、昨年からの、資材をはじめとした生産費の高騰や、異常気象によるリスク拡大、水活をはじめとする政策の不安定感など、様々な事に対応していくなければならない状況です。だからこそ、個別の問題ではなく、地域の問題でもあります。そのため、農協の存在があります。そのために、農協の存在があるように、個々の経営基盤をしっかりと安定したものとし、そのままに繋げていくものです。我々も、そのことを常に経営の中心に据え、事業活動を進めてまいりますので、あらためてよろしくお願ひいたします。

## 令和6年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会  
代表理事長 樽井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられますことと存じます。また組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向けることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によつて降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しております。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。新型コロナウイ

ルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。さらにはこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

今年は、第31回JA北海道大会が開催されます。また第30回JA北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしつかりと検証し、次のJA北海道大会に繋げていく必要があります。このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、JAグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広めて参りましょう。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食べ物を輸入に頼つているのが日本の現状です。食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

J A グループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立

ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があり、行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図つて参ります。

今年は、第31回JA北海道大会が開催されます。また第30回JA北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしつかりと検証し、次のJA北海道大会に繋げていく必要があります。このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、JAグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広めて参りましょう。

理事 理事  
理事統括室長  
代表監事  
監事  
員外監事

伊藤俊秀 春視宏忠 行彦 忠宏 宏春  
藤田和博 俊和 昌重 勝和 田藤 本野 野田 田藤  
橋八 小佐 佐安  
外職員一同

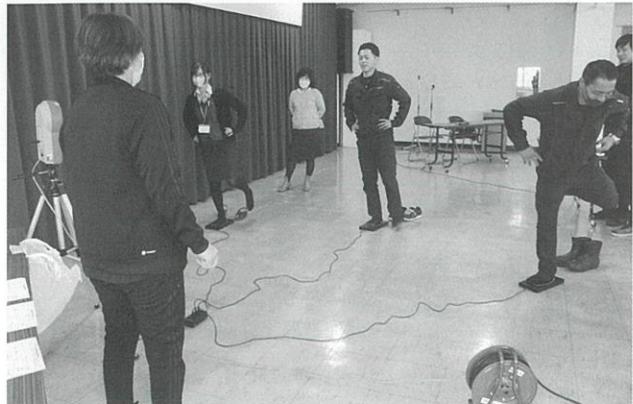


## J A職員の職場研修会実施

11月27日、当JA大会議室でJA職員の研修会が2回に分けて行われ、41名が参加しました。

この日行われた研修内容は「自分の体力を知つて、体を動かしましょう！」と題し、北海道農業団体健康保険組合の高井朋美健康運動指導士を講師に招き、体力測定を行いました。

軽い準備運動の後に4つのグループに分かれて、握力測定や立位前屈・閉眼片足立ちなどを行い、自身の体力を可視化しました。参加し



「おーっとっとっと…」  
閉眼片足立ちは結構難しいです。

高井講師は「これから雪が降つて屋内にいる時間が増えるため、筋力や柔軟性がアップするストレッチをぜひ実践してもらい、体力を高めて下さい」とアドバイスしていました。

## 「一日ホクレン」開催される

11月28日、当JA3階大会議室で「一日ホクレン」が開催されました。この「一日ホクレン」は、主にJA経済事業について、生産者・JA・ホクレン間の意思疎通や連帯の強化を図ることを目的として、ホクレンが定期的に開催しているもので、当JAは平成28年開催以来で、7年ぶりの開催となりました。

当日はホクレン岩見沢支所から13名、当JA役員・各課次長16名合計29名が出席しました。ホクレン岩見沢支所の野尻英之支所長の開会挨拶に続いて、当JA伊藤組合長が挨拶を述べた後、ホクレンの各課長から事業の概況や情勢について詳しい説明が行われました。



新型コロナウイルス感染症拡大防止も含めて、7年ぶりの開催でした。

## 役員コンプライアンス研修実施

12月1日、当JA中会議室で役員コンプライアンス研修を実施し、役員10名が出席しました。



近年、多発しているマネーロンダリングについて、学んでいます。

当JA役員らから「販売面で作況指数が与える影響はないのか」「高温時の農作物の管理方法の研究、ドローンで散布可能な肥料・農薬の開発の強化をお願いしたい」「情報発信に力を入れて欲しい」と様々な質問が出され、意見交換が行われました。

当JA役員らから「販売面で作況指数が与える影響はないのか」「高温時の農作物の管理方法の研究、ドローンで散布可能な肥料・農薬の開発の強化をお願いしたい」「情報発信に力を入れて欲しい」と様々な質問が出され、意見交換が行われました。

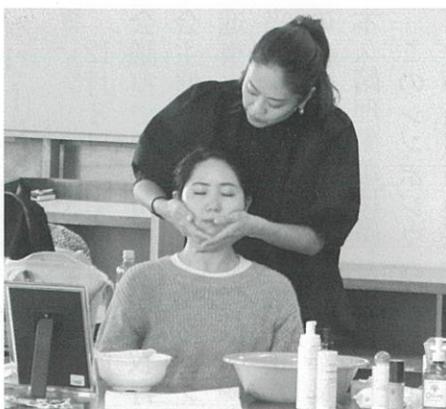
JAでは金融庁のガイドラインに沿って、これまでの対策の緯を聞きながら、更に地域金融機関をターゲットとした事例についての解説、なぜ役員が主導することが求められるのか、対策についての現状や課題など様々なポイントが提示され、出席した役員は真剣な表情で聞いていました。

## 女性農業者セミナー開催

12月8日、JA3階大会議室で「女性農業者のための学びイベント」が開催され、管内の女性農業者ら10名が参加しました。

このイベントは「最近、地域の女性農業者が一同に集う機会が減少しているのでは?」という組合員の声を汲み、農業振興課が企画したものでした。

会場では、札幌市内の美容室を経て、現在はフリーランスへアメリカとして様々な場で活躍をされている対馬(つしま)友理さんから正しい洗顔方法を学んだあと、化粧水とコットン、乳液を使って、実際にスキンケアのやり方、目の下のクマを取るマッサージを実践しました。



プロの手さばきはやはり、ひと味違います。

参加者からは肌のトラブルなど様々な質問がなされ、対馬さんは

「肌は3週間で変わるので、ぜひ毎日のスキンケアを実践してみて下さい」とアドバイスしていました。

また美唄市地域おこし協力隊の木口モモさん、尾崎心音(しおん)さんによる『地域活性化に向けて』と題した講演が行われました。



美唄市地域おこし隊の  
木口モモさん(左)と  
尾崎心音さん(右)

道出身のお2人の生い立ちから社会課題や海外でのボランティア活動、環境問題に触れた大学生時代、そして地域に根付いた活動をしたいと思い、美唄市への移住につながった経緯などをお話しただきました。

会場に集まつた参加者は興味深そうに話を聞いていました。

1. 理事に対する令和5年度クミカン取引の貸越極度額等の変更について
2. 令和6年度営農計画書審査方針及び基準の設定について
3. 令和6年度 役員報酬の諮問について
4. 役員賠償責任保険契約の締結について
5. 組合員による持分の譲渡の承認について



講師の対馬さん、実はホクレンの営農情報誌のアグリポートの表紙モデルのメイクを7年担当した経歴があるとのこぼれ話しが!

## 第10回（11月定例）理事会 開催

11月28日、11月の定例理事会において決議された事項は次の通りです。

1. 理事に対する令和5年度クミカン取引の貸越極度額等の変更について

## 第11回（12月定例）理事会 開催

12月20日、12月の定例理事会において決議された事項は次の通りです。

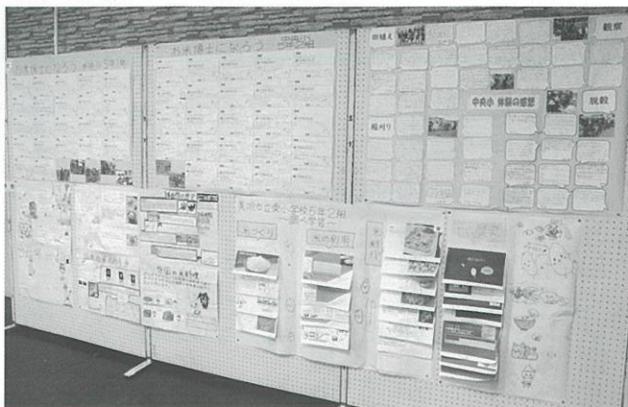
1. 決算実地棚卸の実施について
2. 理事に対する令和5年度クミカン取引の貸越極度額等の変更について
3. 理事に対する令和6年度クミカン取引の貸越限度額等の設定について
4. 各種事業の奨励施策の実施について
5. 諸規程の一部変更について
6. 組合員による持分の譲渡の承認について

6. 諸規程等の一部変更について  
7. 年末手当の支給について  
8. 地区別懇談会の開催について

## 臨時理事会開催

12月1日、臨時理事会が開催され、次の事項が決議されました。

1. 生産費高騰に対する激変緩和対策について
2. 令和5年産米に係る精算について
3. 令和5年産大豆に係る仮精算について



美唄市立中央小学校・東小学校の生徒さん達の力作がズラリ。



パネル展示の中の1枚。  
当JA青年部員と園児たち。満面の笑顔パシャリ。



今回は、187名の皆様にご利用を頂きました。

12月8日、美唄市民会館2階大議室で美唄市・美唄市教育委員会主催のグリーン・ルネサンス推進事業シンポジウムが開催され、当JAから伊藤組合長、JAみねのぶ青年部から星野功平部長と岸本久靖理事が出席しました。

このシンポジウムでは、子どもたちが美唄市の基幹産業である農業を通じて、生きる力と食の大切さについて学んだ1年を振り返り、美唄市中央小学校・東小学校の生徒たちによる食農体験発表が行われました。

また美唄尚栄高等学校の生徒らによる農業クラブの活動発表、作家で拓殖大学北海道短期大学の客員教授の森久美子氏による『地域に根ざした食農教育で、「たくましく生きる力」を育む』と題した講演が行われました。

会場では、美唄尚栄高校の生徒たちが作ったハスカッピジャムなどの加工品販売が行われたほか、美唄市内の保育園・幼稚園児たちが参加した田植え・稻刈り・脱穀農業体験の様子や子どもたちがお米について「稻をまつすぐ植えるのがむずかしかった」「お米の花をはじめて見てすごくてのしかつ

た」「生育観察は色々な虫や生き物がいてびっくりした」など学びや感想を綴った掲示物がパネルで展示され、来場者たちは子どもたちが制作した資料を真剣な表情で見していました。

## 本年の組合員還元セール 盛況に終わる

12月19日・20日の2日間、本年最後の組合員還元セールの商品引き渡しが行われました。

今回は総勢187名の組合員の皆様にご利用を頂きました。本年もご利用いただきまして、誠にありがとうございました。

## 年末年始の自動車事故発生時の連絡先

冬は交通事故が増加する傾向にあります。

12月30日(土)~1月3日(水)、6日(土)~8日(月)は下記へご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

JA共済アプリからなら連絡もスムーズです。  
▼今すぐダウンロード



App Store  
からダウンロード



Google Play  
で手に入れよう

曜日・時間帯	連絡先
月曜～金曜のJA営業時間内	JAみねのぶ金融課 0126-67-2113
上記以外 24時間365日受付	自動車事故などJA共済事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931 レッカー移動・故障時の応急対応 JA共済サポートセンター フリーダイヤル 0120-063-931

※救急119、警察110のご連絡もお忘れなく。

(JAみねのぶ 金融課)

### 第3回監事監査終わる

本年10月末日を基準日とする第3回監事監査が11月15日から17日までの日程で、佐藤代表監事以下3名の監事により執行されました。

本年度事業の第3四半期における事業進捗状況及び会計処理等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事、各課長に対して監査講評が行われました。

### 地区別懇談会を実施

12月11日から13日までの3日間、JA3階大会議室で、JAみねのぶと峰延農民協議会合同の地区別懇談会が開催されました。

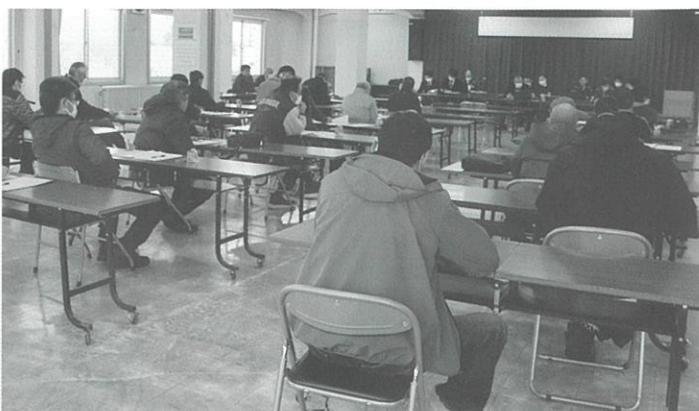
11日は峰延・光珠内・峰樺地区、12日は豊草・上美唄地区、13日は岩見沢市・三笠市地区を対象にご参集いただきました。

伊藤組合長の開会挨拶後に、当JAの各部署から、営農技術や支援の取組、各農産物の精算、購買事業の取組、制度資金について説明がなされた後、峰延農民協議会から、11月13・14日に行つた「2023秋闘：米・水田農業対策中央行動」にて、持続可能な米・水田農業政策の確立について農林水

産省・経済産業省・内閣府の担当部局や道内から選出された国會議員に要請した報告を行いました。

その後の懇談では、組合員の皆様からのご質問やご意見、ご要望について質疑応答が行われました。

後日、これら的内容について整理したものをQ&A形式にて皆様にお知らせする予定です。



今年は、地区別懇談会を12月にも開催しました。

**職員コンプライアンス研修会を実施**

12月14日、当JA中会議室で、職員コンプライアンス研修会を開きました。



美唄警察署の成田主任からランサムウェアとサイバー攻撃について講義をいただきました。

### JAみねのぶ営業時間(令和6年1月1日～令和6年3月31日)

JAの冬期営業時間が昨年に引き続き次のとおりとなります。一層のご利用をお待ち申し上げます。

	平日(月曜～金曜)	土曜	日曜	祝日
本部事務所(ビル2階)	午前9時～午後5時			
金融店舗(ビル1階)	午前9時～午後4時			
営農事務所	午前9時～午後5時			
営農資材店舗	11月～3月 午前9時～午後5時			
精米所	11月～3月 午前9時～午後5時 *精米所は毎週木曜日休み			
ATM(現金自動預払機)	午前9時～午後6時00分	休み		
生活店舗	午前9時30分～午後6時00分			
給油所	11月～3月 午前8時～午後7時	午前8時～午後6時		

【ご留意】 \*生活店舗 … 令和6年1月以降は閉店時刻を午後6時に変更します。  
\*金融店舗

- ・為替振込業務 … 平日(月曜～金曜)の午前9時～午後3時
- ・ATM(現金自動預払機) … 生活店舗の閉店時刻に合わせて令和6年1月以降は利用時間を午前9時～午後6時に変更します。

**J Aみねのぶ店・  
A T M(現金自動預払機)  
閉店時刻繰り上げ**

1月から、JAみねのぶ店の閉店時間が30分繰り上がり、午後6時で閉店となります。  
T M(現金自動預払機)も、稼働時刻が午後6時までとなりますので、左図にてご確認下さい。

**農協青年部の岸本理事が  
「純農Boyオーディション」で  
グランプリ受賞**

12月7日から8日にかけて、札幌市内で北海道農協青年部協議会（JA道青協）が主催した第72回全道JA青年部大会が開催されました。今大会の中で、「純農Boyオーディション」が行われ、当JA青年部の岸本久靖理事（光珠内町北5号）がグランプリを獲得しました。

この「純農Boy」とは、農業やJA青年部の活動に人一倍情熱を注ぎ、北海道のJA青年部の「顔」として、北海道農業の魅力をPRする役目を果たす生産者を選ぶため、2013年から実施されています。

全道12地区から代表者が選出され、面接や農業への情熱と個性を活かしたパフォーマンス審査をして、見事、栄光を勝ち取りました。今後1年間、グランプリ受賞者として、様々なメディアを通して北海道農業のPR活動を行う予定です。皆さん、どこかで見掛けたら、ぜひ応援をお願いいたします。



北海道農業の魅力を沢山伝えて下さい。  
おめでとうございます！



教員時代に生徒さんたちからプレゼントされた  
つなぎ服を着て記念撮影



JAみねのぶ金融店舗出入口前で、  
ひとりひとりに注意を呼び掛けていました。

峰延駐在所が特殊詐欺防止を呼び掛けました。峰延駐在所の小倉巡回部長が、当JAの金融店舗出入口前で、来店客に向けて特殊詐欺への注意を呼び掛けました。当日は年金支給日でもあり、まさにこの日を狙つて詐欺の電話が増えることから、峰延地域住民の安全を守る声掛けとともに注意喚起のチラシを配布しました。

小倉巡回部長は「最近の特殊詐欺は実に巧妙化しており、大企業の名前を使った自動音声による国

12月15日、美唄警察署峰延駐在所の小倉巡回部長が、当JAの金融店舗出入口前で、来店客に向けて特殊詐欺への注意を呼び掛けました。

おこやみ申し上げます	
真野 栄樹さん	(58歳) 11月29日
小幡 清さん	美唄市光珠内町3区
石川 優次郎さん	(88歳) 12月6日
熊谷 光子さん	美唄市光珠内町2区
岸本 良子さん	美唄市開発町南
美唄市峰延町本町	(75歳) 12月24日

**JA一部業務の臨時休業のお知らせ**

日頃から当JAをご利用いただき誠にありがとうございます。

年度末決算棚卸のため下記の通り一部の業務を終日臨時休業いたします。ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

なお、下記以外の業務は通常通り営業いたしますのでご利用をお待ちしています。

記

臨時休業する日  
令和6年1月31日(水)  
・営農資材店舗  
・利用精米所

(JAみねのぶ 総務課)

管内でもそのような電話が来ていますので、おかしいと思つたら、すぐ警察に相談してください」と話していました。

尊徳翁は次のように話された。  
太閤豊臣秀吉の戦法に、敵を以つて敵を防ぎ、敵を以つて敵を打つというのがあつた。なかなか以つて良い方法である。それと同じように、水防にも水を以つて水を防ぐという方法がある。知つておいたほうが良い。町田亘という門人が言つていたが、最近この方法を応用した「鷹がね堤」という堤が、富士川に築かれたそうだ。その話が事実ならば、良く勉強した者がいるに違いない。

ところで、私の仕法も、それには近い方法を用いているのは、知つての通りである。一例をあげれば、荒地を荒地の力で開き、借金は借金の利子分で返済し、欲を以つて欲を制するという具合である。世の中の、いろいろな教えにも同じようなものがある。

仏教では、この世は仮の宿であり、死後の来世こそ大事だと教え

の世界であるが、草に例えて見ればほぼ見えてくる。今ここにある一本の草に対しても、お前は草として生まれ、露や肥やしを吸い喜んでいるとはい、それは偽のものだ。この世は、仮の姿であるから、今は春風が吹いていて、風の厳しさを凌いで成長しているが、明日にもその努力も無益となるようないたほうが良い。町田亘といふ人が言つていたが、最近この方法を応用した「鷹がね堤」という堤が、富士川に築かれたそうだ。その話を事実ならば、良く勉強した者がいるに違いない。

そこで、私の仕法も、それには近い方法を用いているのは、知つての通りである。一例をあげれば、荒地を荒地の力で開き、借金は借金の利子分で返済し、欲を以つて欲を制するという具合である。世の中の、いろいろな教えにも同じようなものがある。

（夜五四）

## 報徳

### 相手の力を利用して相手に勝つ



### JAへ就職希望者100%就職(令和4年度実績)

### 令和6年度学生2次募集

- 募集人員15名程度(定員60名) ●男女共学
- 1カ年、全寮制(個室) ●満24歳未溝(令和5年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和6年2月3日(土)
- 願書受付:令和6年1月9日(火)~1月24日(水) 消印有効
- 学校見学もできます

JAグループ職員養成校

**J A カレッジ**

お問い合わせ  
資料請求

一般財団法人  
北海道農業協同組合学校  
〒069-0834 江別市文京台東町43-1  
☎0120-918-417  
[JAカレッジ]で検索

### 農協職員資格認定試験に合格

J A 北海道中央会が12月15日、令和5年度農協職員資格認定試験の合格者を発表しました。当JAの合格者は次のとおりです。合格おめでとうございます。

#### ◇中級

- ・ 営農販売課 佐藤速也斗
- ・ 営農販売課 小笠原康平
- ・ 営農販売課 林 真里
- ・ 金融課 村山瑛亮
- ・ 金融課 中澤幸枝



今年の気象傾向を振り返っています。

これまでのことは、迷いなのだから、早く種となつて、この世を捨てよ。その種となつてから行くところに、計り知れない楽しさがあるのだ、と説諭するようなものである。

これは、欲が制御しにくいものであることを知つて、この欲を制御するという教えである。ところが、仏教の僧侶達の中には、この教えを悪用して、金を儲けようとしている者がいる。何とも悲しい

この日は空知農業改良普及センターから3名を講師に招き、管内の生産者10名が参加し、今年の生育経過や気象条件などを振り返り、翌年度に向けて、スライドで優良事例を見ながら、防除体系や抑えた。

また谷村普及指導員から、今年7月に行われた直播研修会からの経過報告があり、除草と水管理を段取りのよく作業を進めました。とアドバイスされ、参加した生産者は資料を見ながら真剣な表情で聞いていました。

12月19日、当JA3階大会議室で、営農販売課主催による、米・麦・大豆の栽培講習会を行いました。

### 米・麦・大豆栽培 講習会を開催

ポイント1

## 農業者年金の3つの税制優遇

### 支払った保険料は、全額社会保険料控除の対象！

支払った保険料は、将来年金として受けられるというメリットだけでなく、支払った家族分の保険料も含めて社会保険料控除の対象となり、大きく税が軽減されます。

農業経営にゆとりが出たときは、保険料の毎月の保険料額を増額したり、翌年1年分をあらかじめ一括して納付する「前納納付」で当年中に納付する保険料額を増やして、税軽減額をアップすることもできます。

#### ■保険料支払いによる税軽減額(所得税・個人住民税・復興特別所得税)の目安

課税対象所得	税率	保険料月額2万円 (年額24万円)の場合	保険料月額6万7千円 (年額80万4千円)の場合
195万円以下	15.1%	3万6千円	12万1千円
195万円超330万円以下	20.2%	4万8千円	16万2千円
330万円超695万円以下	30.4%	7万3千円	24万4千円

※保険料支払い後も保険料支払い前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。

ポイント2

### 運用益は非課税！

#### 制度発足以降20年間の運用利回りは、年率で+2.94%！

一般の預貯金等の利子には約20%の税金がかかりますが、農業者年金の運用益は非課税です。そのため、その分多く年金の原資として積み上がります。

また、事務経費についても国が負担しているため、支払った保険料の全額が運用されます。

#### ■年金資産の運用実績

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
修正総合利回り(%)	-4.65	5.99	3.4	9.8	3.27	-4.73	-9.25	9.14	-0.06
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
2.36	9.62	7.75	8.78	-0.69	3.26	4.75	7.71	-2.08	10.82

平均運用利回り 年率で+2.94%

ポイント3

### 将来年金として受け取る際も、大きな控除！

#### 受け取る年金は公的年金等控除が適用

農業者年金として受け取った年金は、税制上、公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば、公的年金等の合計額が110万円※までは全額控除されます。

※公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額が1,000万円以下の場合

#### 死亡一時金もあり安心、しかも死亡一時金も非課税

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として要件を満たす遺族が受け取れ、死亡一時金は非課税です。※加入期間等により保険料払込額を下回る場合があります。

農業者年金の内容やご相談については、  
最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金に  
お問い合わせください。

#### 独立行政法人 農業者年金基金

●専門相談員

TEL: 03-3502-3199

●企画調整室

TEL: 03-3502-3942

2023.5

問合せ先 JAみねのぶ金融課 融資係 ☎0126-67-2331

詳しくは…

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



### 美唄警察署から

#### 特殊詐欺防止活動の委嘱状

12月21日、美唄警察署から当JAに特殊詐欺防止を呼び掛ける

『「おせち」で見抜くぞ特殊詐欺』の活動メンバーとして委嘱状が交付されました。

この活動は「おしえない、せるふチェック、ちゅういする」の頭文字3つで「おせち」になることから、正月の「おせち料理」にちなんで、配達時にチラシを配布して地域住民に注意を呼び掛けるものです。

**J Aみねのぶ青年部が第76回通常総会を開催**

12月22日、午後6時から、当JA大会議室にて、JAみねのぶ青年部が第76回通常総会を開催しました。

この日は、来賓を含め、農協青年部員・農協職員ら25名が会場に集まりました。

その後、今総会の議長に齋藤摩利雄氏を選出し、議事に入りました。提案された議案については、全案可決・承認されました。今年度の総会で前役員3名が表彰されました。

- ・目黒泰行前部長
- ・大槻和洋前副部長
- ・仲河 守前副部長

今年も滞りなく総会を終了しました。

を朗唱しました。

続けて、星野功平青年部長が挨拶を述べた後、来賓を代表して、当JAの伊藤組合長と峰延農民協議会森川雅夫委員長から祝辞をいただきました。



美唄警察署から委嘱状を手渡されました。

### 峰延農協青年部 第76回通常総会

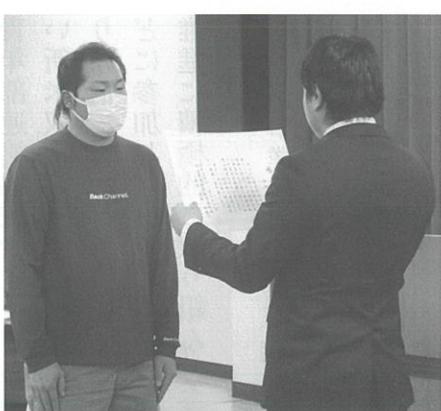


開会宣言する吉村副部長

### JAみねのぶ青年部 第76回通常総会



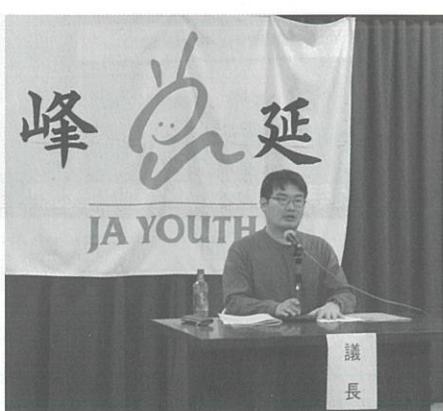
挨拶する星野部長



表彰を受ける  
仲河前副部長



表彰を受ける  
目黒前部長



議長を務める  
齋藤摩利雄部員

**新年のご挨拶**  
青年部長 川端慶也



新年明けまして、おめでとうございます。

令和6年を迎え、謹んでお慶び申し上げますと共に、平素より青年部活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

過日、JAみねのぶ青年部第76回通常総会に於きまして、青年部長という職責を仰せつかりました。歴代の諸先輩方の功績を顧みますと、自分にその重責を全うできるか不安ではございますが、ご推薦いただきました皆様のご期待に添えるよう、精一杯努力していく所存でありますので、盟友並びに諸先輩方、また農協をはじめとする各関係機関の皆様方には、ご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、春先までは雪解けも早く順調に推移したもの、峰延農協の基幹作物である水稻では7月以降の高温により生育が進み、例年よりも早い収穫作業になりました。また8月17日には台風7号が北海道に接近し倒伏する被害が多く収穫作業は困難だったのではないかと思いました。南空知の作況指数は103ではありましたが、高温の影響により2等品位の割合が非常に多く、高タンパク傾向になりました。

小麦は、7月の高温により生育が多少早まりましたが、収穫期間中は天候にも恵まれ、収量、品質とともに平年を上回る年になりました。ただ春まき小麦については、収穫期間中の降雨等の影響で収量、品質とも平年を下回る結果となりました。

大豆は収穫時期に黄化や落葉が進まず、また、収穫期間中の降雨により、シワ・裂皮・汚粒が多く品質に多大な影響を与えました。また夏場の高温で病害も多く発生し、収量、品質ともに前年を下回る結果となりました。

農政においては、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響で、生産資材の高騰、原油価格の高騰があり、我々農業者に不安が広がっています。一方、令和元年に端を発した新型コロナウイルス感染症は5類に移行され、経済活動はコロナ禍前の活気を取り戻しました。それに伴い米価も回復の兆しが見られます。ただ水田活用の直接支払交付金など水田に関わる政策が大きく見直されました。このような情勢の中で我々青年部は地域社会の担い手として、農業情勢に注視し、青年部一丸となって声を上げていきたいと思います。

そのためにも、各種研修会を通して、農政に関心をもち、農政活動の先頭に立つことが必要だと思います。また、学習会を開催し知識の向上に努め、懇親会やレクリエーション等で盟友の団結をより一層強めていきたいと思います。

他にも、環境問題に対しまして我々青年部は、クリーン農業に向けた使用済み農業用廃プラスチック回収の実施を行いました。組合員の皆様のご理解とご協力により、円滑な運営や分別等が徹底出来ております事を心より感謝申し上げます。

また、令和5年度に初めて開催させて頂きました美唄市内3農協



【右から】

監事 仲河 守	監事 尾高 恵太	理事 吉村 悟
副部長（営農） 荒井 翔悟	副部長（組織） 岸本 久靖	副部長（会計） 渡辺慶太郎

※川端慶也新部長は都合により欠席

青年部連絡協議会イベント「ひばり新米収穫祭」、美唄市主催により原宿で行われた農産物販売会などに参加し、みねのぶブランドの推進に積極的に取り組んで参りました。

各種事業に対しましてご理解、応援を頂いております農協をはじめとする各関係機関の皆様、諸先輩の方々、盟友の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。とてもいい経験をさせて頂きましたので、今後の青年部活動に活かしていきたいと思います。

最後になりますが、今後とも皆様におかれましては、青年部活動に対し、さらなるご理解、ご協力を重ねて申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。